

京都看護大学卒業後調査 2020年（2018卒）

実施期間：2020年6月10日～6月30日

実施方法：Webアンケート

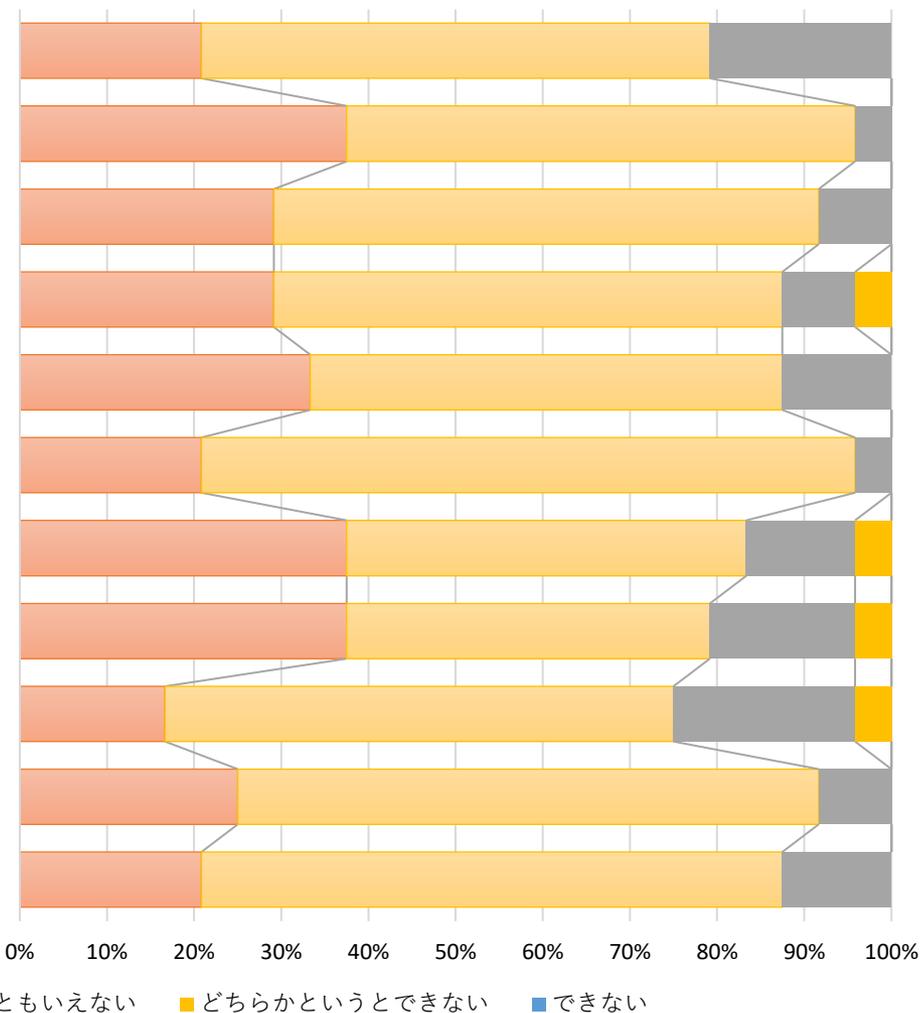
配布数：89

回収数：24

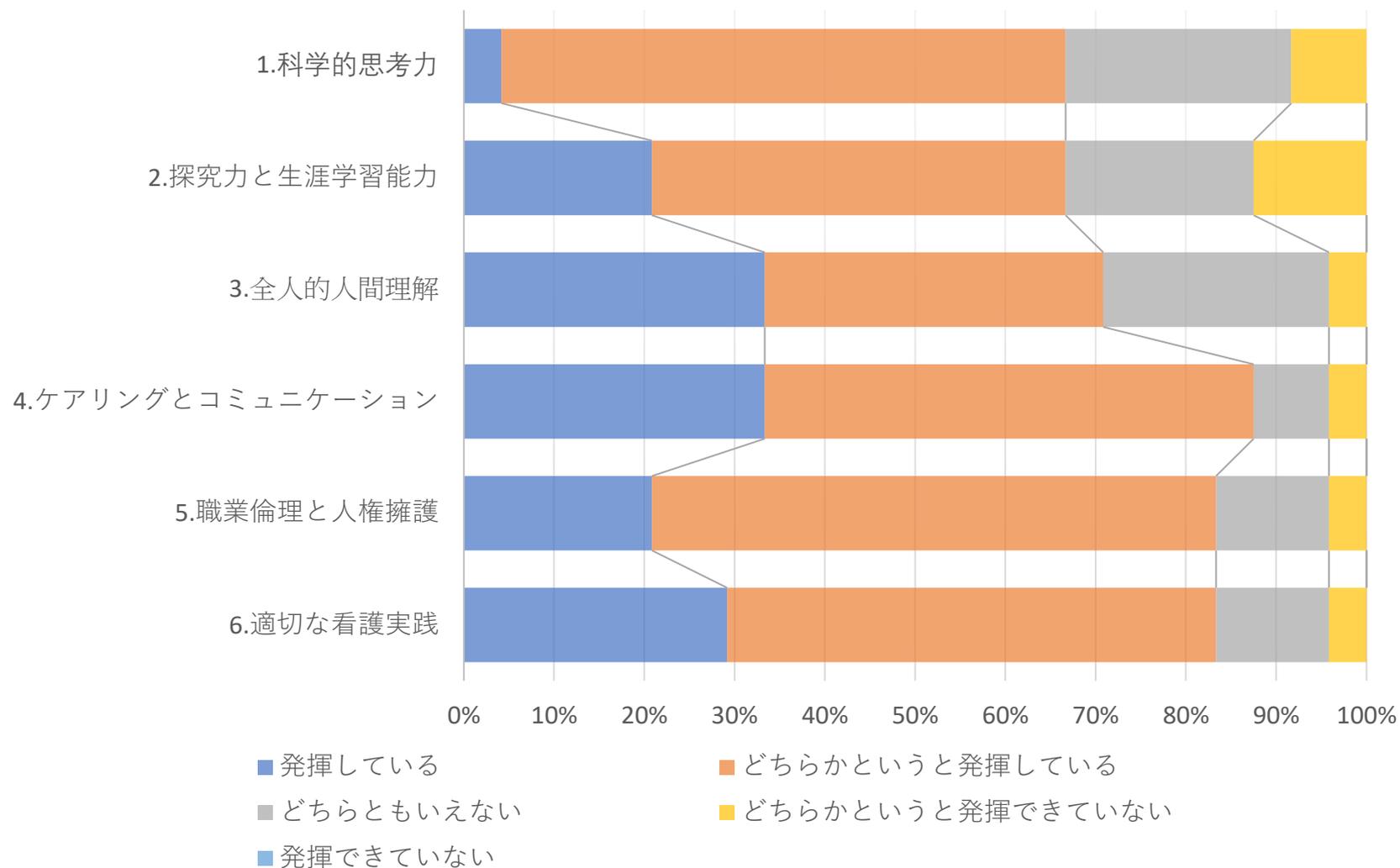
回収率：27.0%

Q1 次に示す看護実践能力は、「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）のレベルIIの内容です。今のあなたの看護実践能力に最もあてはまるものひとつを選択してください。

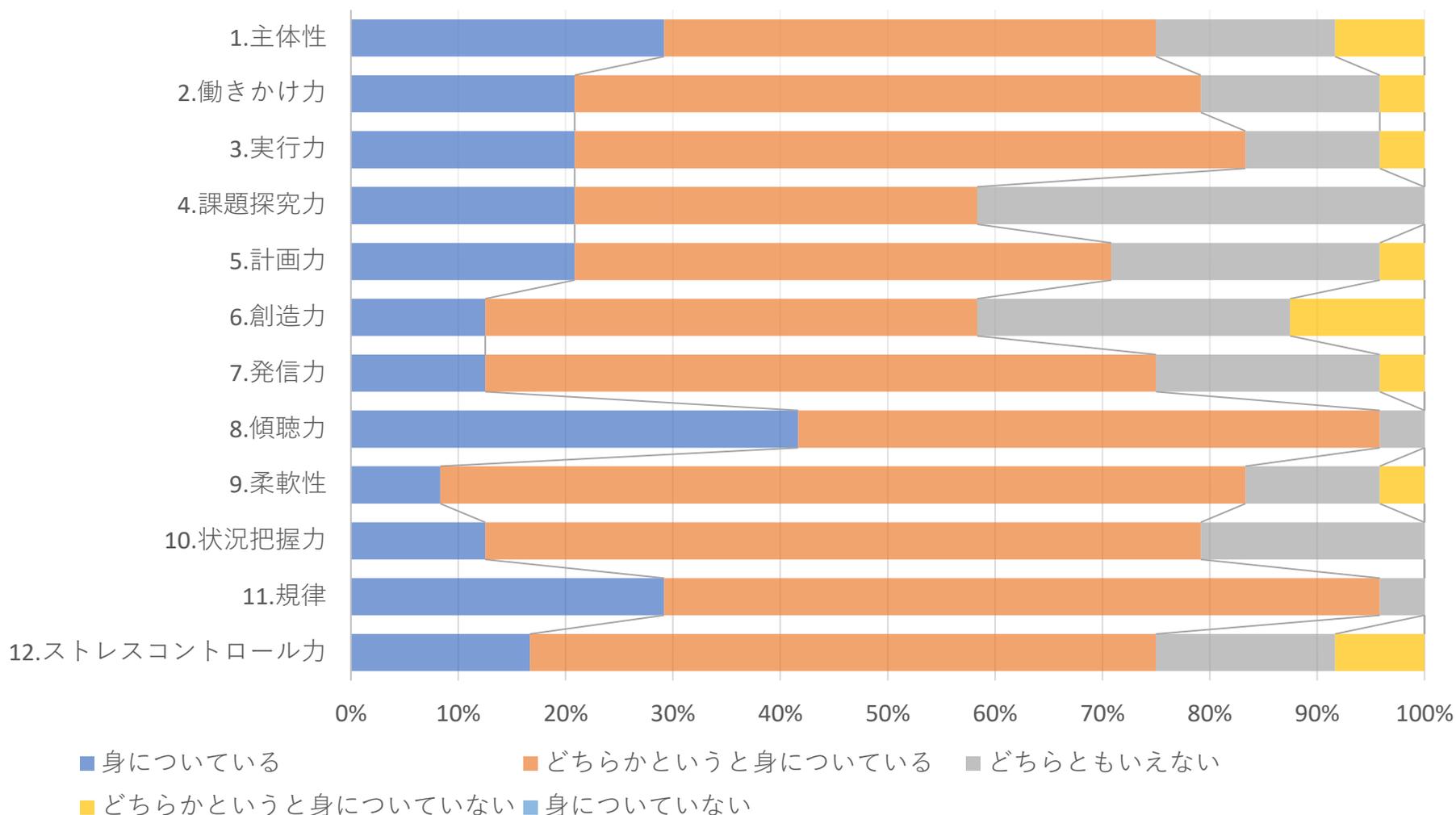
- 1.得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる。
- 2.ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる。
- 3.ケアの受け手の個別性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践する際に必要な情報を得ることができる。
- 4.ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる。
- 5.ケアの受け手の状況に応じた援助ができる。
- 6.ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理化したうえで、それぞれと積極的に情報交換ができる。
- 7.関係者と密にコミュニケーションを取ることができる。
- 8.看護の展開に必要な関係者を特定できる。
- 9.看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる。
- 10.ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる。
- 11.確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる。



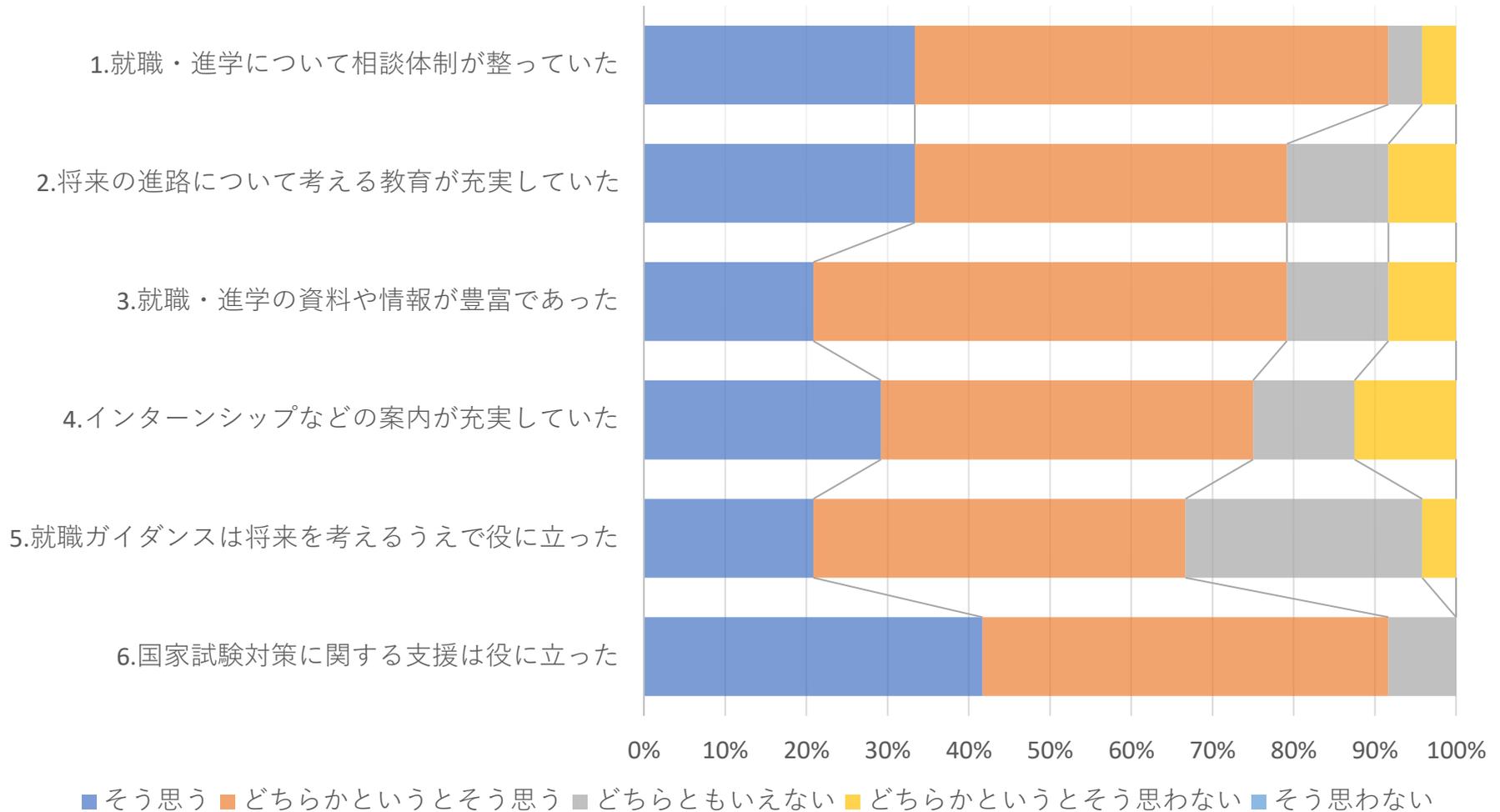
Q2 本学では次に示す6つの能力を目標に学部教育を行っています。これらの能力を臨床の現場でどの程度発揮しているか最もあてはまるものひとつを選択してください。



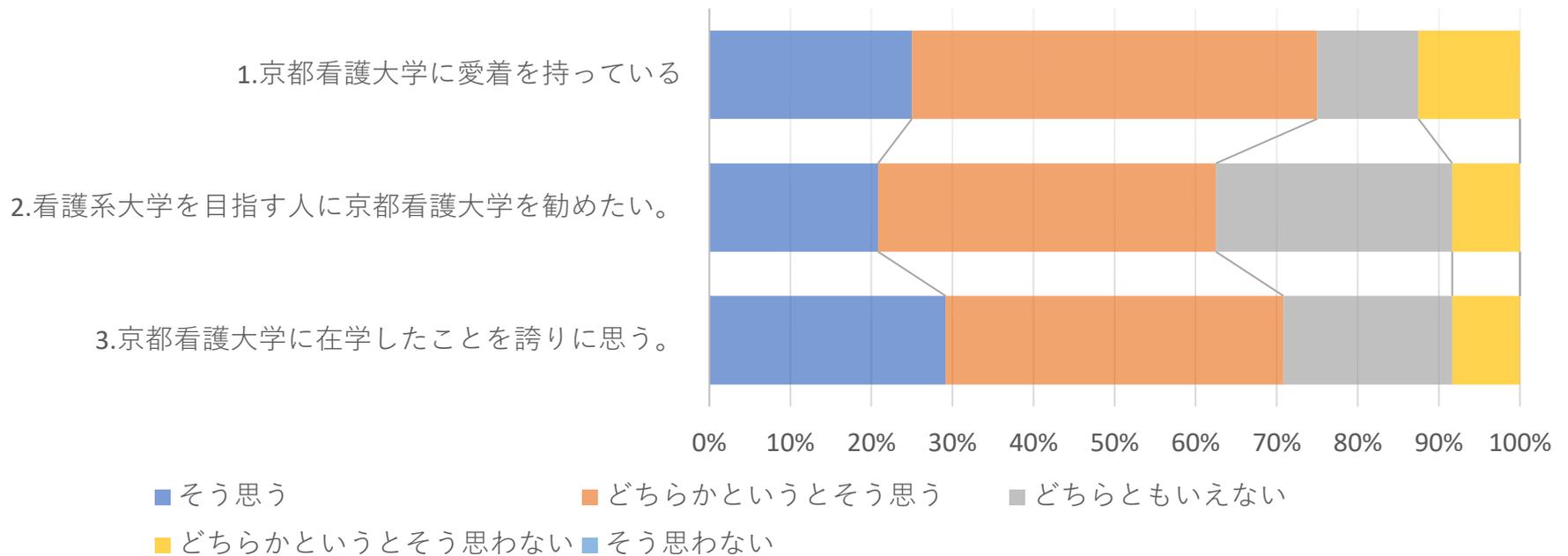
Q3 中央教育審議会答申や経済産業省が提唱する「社会人基礎力」について、どの程度身につけているか最もあてはまるものひとつを選択してください。



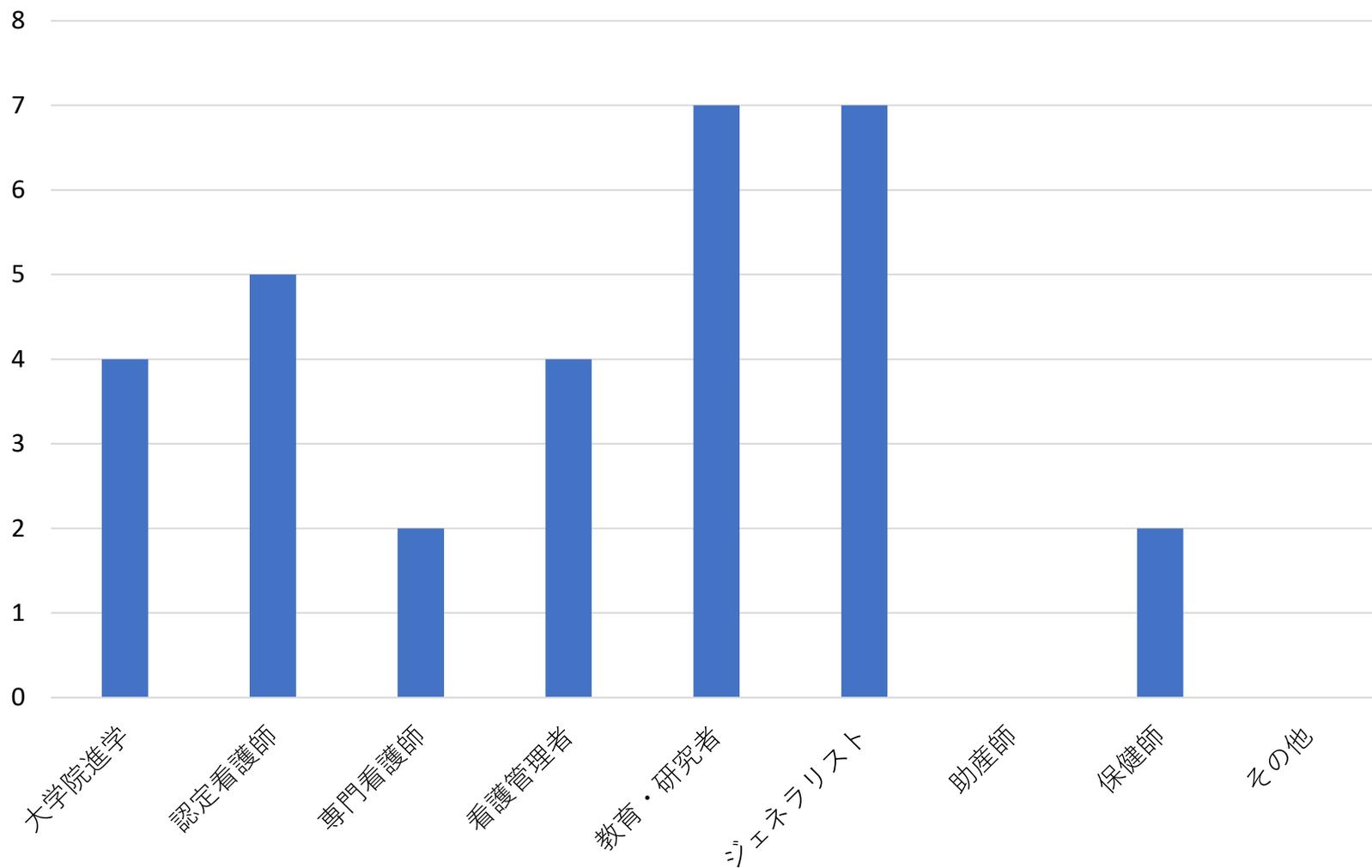
Q4 本学の進路・就職サポートについて、最もあてはまるものひとつを選択してください。



Q5 京都看護大学に対するあなたの思いについて、最もあてはまるものひとつを選択してください。



Q6 今後のキャリア発達について、あてはまるもの全てを選択してください。



Q7 本学について今後さらに期待することについて、最もあてはまるものひとつを選択ください。

